

# SE-PostgreSQLで構築する セキュアデータベース

日本セキュアOSユーザ会

海外 浩平 <kaigai@kaigai.gr.jp>



日本セキュア OS ユーザ会  
Japan Secure Operating System Users Group since 2007

# はじめに - 思想的背景 - (1/2)

ビジネス手帳の価値: ¥1,280  
個人情報の価値: PRICELESS



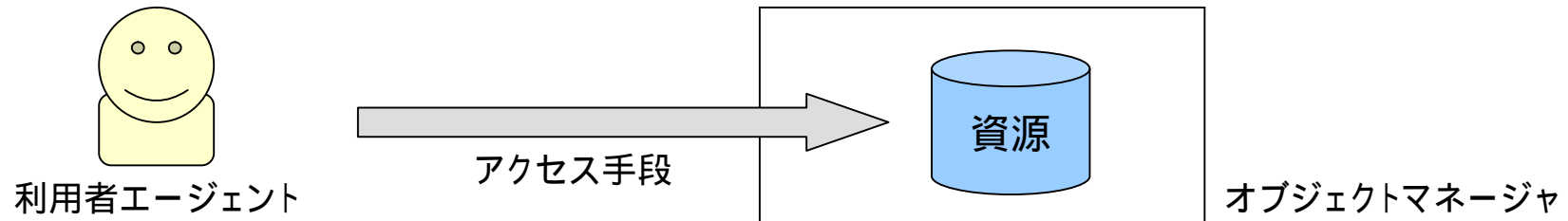
- 情報システムにおける、セキュリティの役割とは？
  - ➡ **情報資産**を脅威から保全する事
- 情報資産とは
  - プライバシー、与信情報、パスワード、監査証跡、etc...
  - 特徴: 情報資産は、必ず何らかの媒体に格納される  
例: ファイルシステム、データベース、紙、脳、石版、etc...
  - 求められるセキュリティの水準は、情報資産の"価値"しだい

## はじめに - 思想的背景 - (2/2)



- 何が情報資産の価値を決めるのか？
  - × 情報資産の格納方法
  - 情報資産の中身 (= コンテンツ)
- アクセス制御はどの様に機能するか？
  - ファイルシステム ... rwxパーミッション、OSユーザ
  - データベース ... GRANT/REVOKE構文、DBロール
  - ➡ 情報資産の“格納方法”に依存、一貫性を担保できない

# システムワイドなアクセス制御一貫性



- オブジェクトマネージャ

- 資源へのアクセス手段 / アクセス制御を提供
- OS, DBMS, X-window

- OSとDBMSの類似性

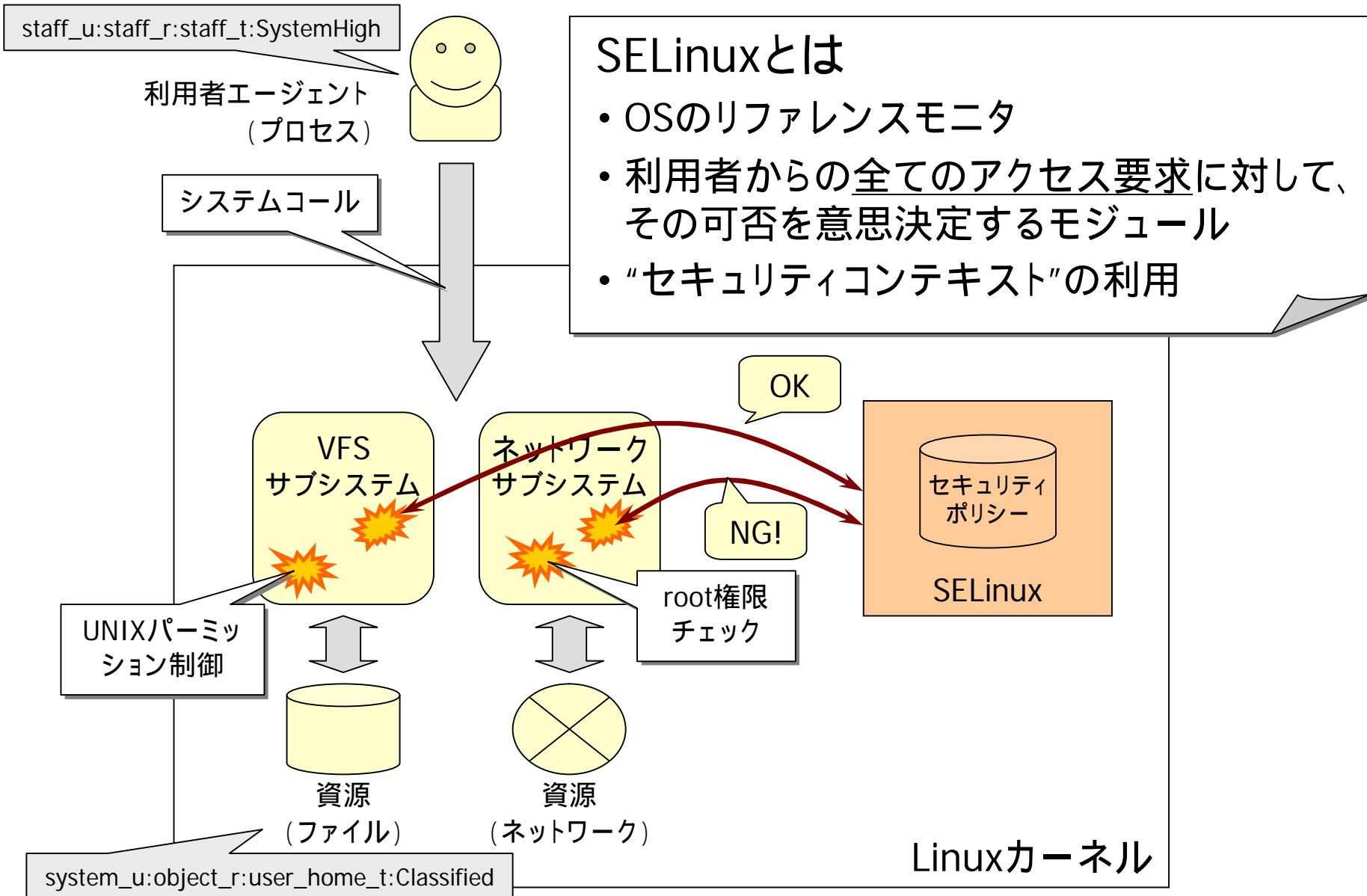
- OS: プロセスがシステムコールを介してファイルにアクセス
- DBMS: クライアントがSQLを介してデータベースにアクセス

- アクセス制御の一貫性

- 利用者エージェントは、共通の権限を持つ
- オブジェクトマネージャは、共通のルールに基づいてアクセス制御を実施

SELinuxセキュリティポリシー

# SELinux



# 補足：SELinuxセキュリティポリシー

- セキュリティコンテキスト

- SELinuxがアクセス制御に利用する識別子
  - プロセス、ファイル、ソケットetc...、全て共通の書式

```
unconfined_u:unconfined_r:unconfined_t:SystemHigh
system_u:object_r:user_home_t:Classified
```

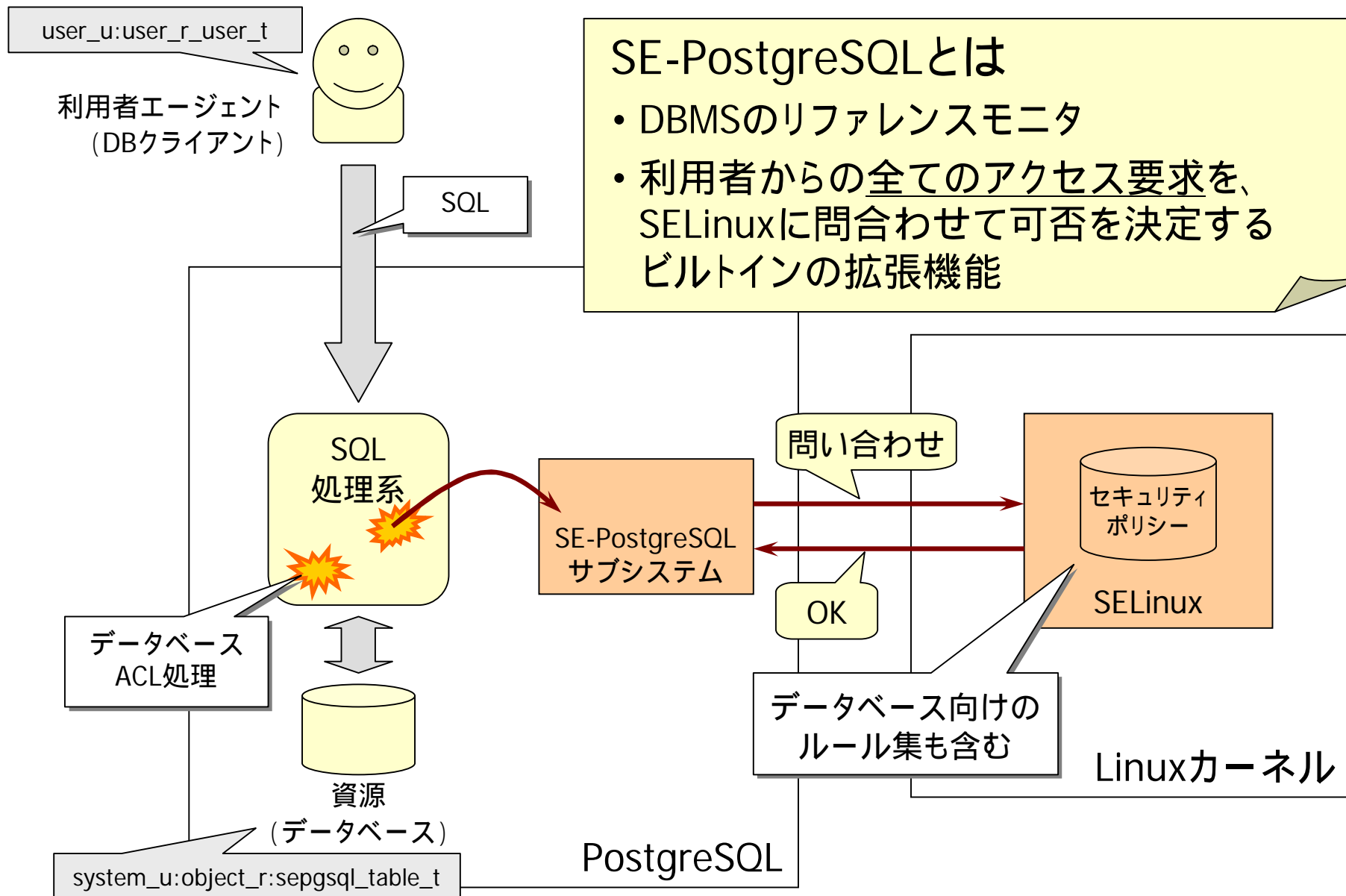
Domain/Type

Range

- セキュリティポリシー

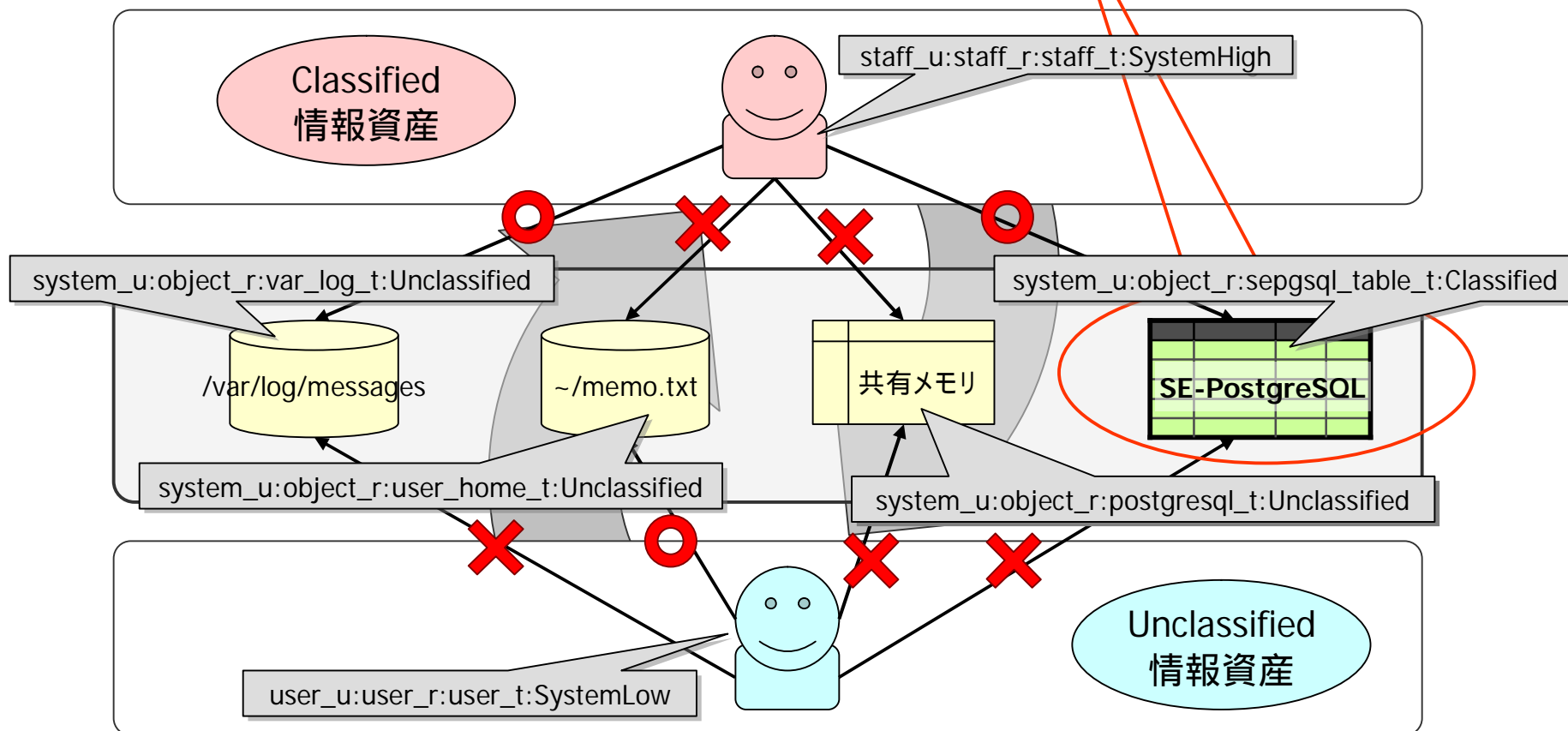
- 『誰が(subject)』『何に(object)』『何をできる(action)』ルール集
- ホワइटリスト方式
- TE: Domain/Type間にルールを記述
- MCS: Rangeの上下/包含関係を制約するルールを記述

# SE-PostgreSQL



# セキュリティポリシーの一元化

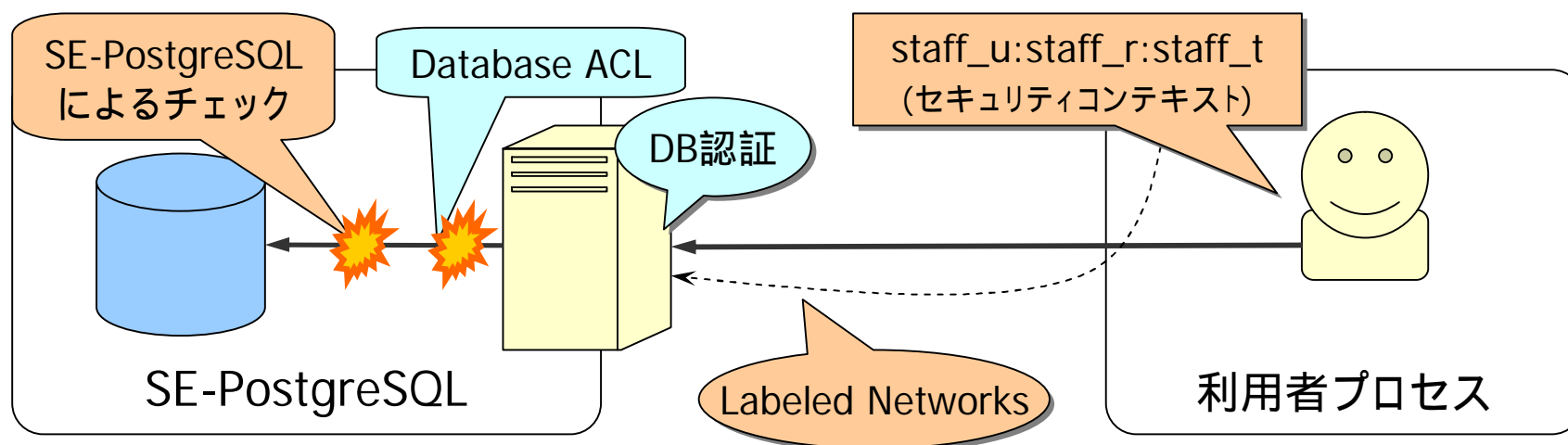
- 利用者エージェントの権限は、OS/DBの双方に対して共通
- OS/DBの双方が、**集中管理されたセキュリティポリシー**を利用する
- ➔ 情報フローの経路に拠らず一貫したアクセス制御





# 利用者の権限

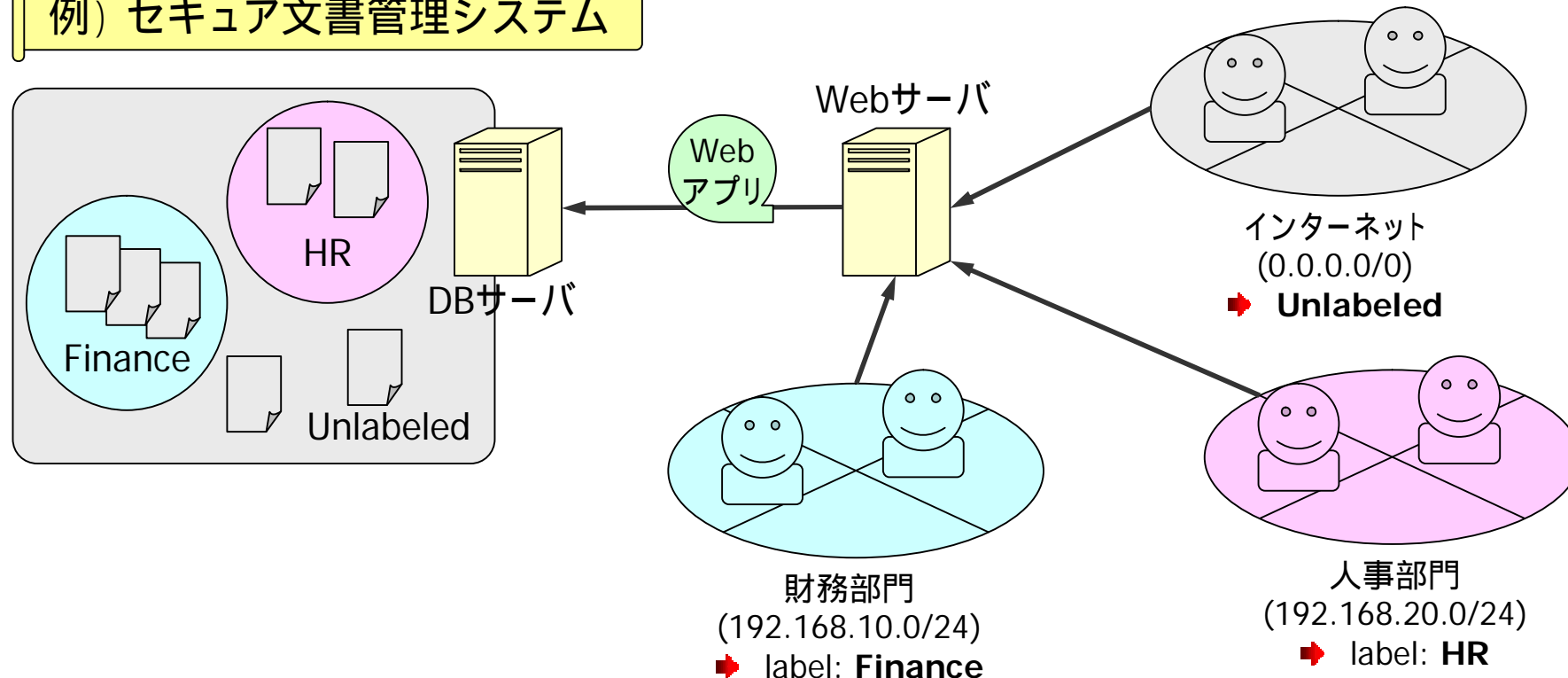
- Labeled Networks
  - 接続元プロセスのセキュリティコンテキストを取得する機能
  - DB認証とは無関係に、クライアントの権限を決定する
- SE-PostgreSQLでは
  - 接続元プロセスの権限に基づいてアクセス制御  
(DBユーザとは無関係！)
  - 利用例：Webアプリには機密情報を参照させない



# 目標とするシステムイメージ

- 制約された権限の下で動作する Web アプリケーション
- ファイル/データベースへのアクセスを全てチェック
- ➡ Webアプリがバグってても、不正なアクセスは許さない

## 例) セキュア文書管理システム



# 例：行レベルのアクセス制御

```
postgres=# SELECT security_label, * FROM drink;
```

security_label	id	name	price
system_u:object_r:sepgsql_ro_table_t	1	water	100
system_u:object_r:sepgsql_ro_table_t	2	coke	120
system_u:object_r:sepgsql_table_t	3	juice	130
system_u:object_r:sepgsql_table_t	4	coffee	180
system_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	5	beer	240
system_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	6	sake	320

( 6 rows )

- 'security\_label' システム列
  - 行単位のセキュリティコンテキストを参照/更新できる
- 行レベルアクセス制御
  - 権限のない行は、SELECTやUPDATEの対象からフィルタリングされる
  - 強制的にWHERE句/JOIN ~ ON句に条件を付加するイメージ

# 例：行レベルのアクセス制御

```
postgres=# SELECT security_label, * FROM drink;
```

security_label	id	name	price
system_u:object_r:sepgsql_ro_t			100
system_u:object_r:sepgsql_ro_t			120
system_u:object_r:sepgsql_table_t	3	juice	130
system_u:object_r:sepgsql_table_t	4	coffee	180
system_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	5	beer	240
system_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	6	sake	320

( 6 rows )

'Unclassified' な利用者からは、  
行がフィルタリングされて見える

- 'security\_label' システム列
  - 行単位のセキュリティコンテキストを参照/更新できる
- 行レベルアクセス制御
  - 権限のない行は、SELECTやUPDATEの対象からフィルタリングされる
  - 強制的にWHERE句/JOIN ~ ON句に条件を付加するイメージ

## 例：行レベルのアクセス制御

```
postgres=# SELECT security_label, * FROM drink;
```

security_label	id	name	price
system_u:object_r:sepgsql_ro_table_t	1	water	100
system_u:object_r:sepgsql_ro_table_t	2	coke	120
system_u:object_r:sepgsql_table_t	3	juice	130
system_u:object_r:sepgsql_table_t	4	coffee	180
system_u:object_r:sepgsql_table_t	5	tea	150
system_u:object_r:sepgsql_table_t	6	milk	110

(6 rows)

'Read Only' なので、SELECTは可能だが、UPDATEやDELETEの対象からは除外される

- 'security\_label' システム列
  - 行単位のセキュリティコンテキストを参照/更新できる
- 行レベルアクセス制御
  - 権限のない行は、SELECTやUPDATEの対象からフィルタリングされる
  - 強制的にWHERE句/JOIN ~ ON句に条件を付加するイメージ

## 例：列レベルのアクセス制御 (1/2)

```

postgres=# select * from customer;
ERROR:  SELinux: denied { select }
        scontext=unconfined_u:unconfined_r:sepgsql_test_t
        tcontext=system_u:object_r:sepgsql_secret_table_t
        tclass=db_column name=customer.credit

postgres=# select cid, cname from customer;
cid | cname
-----+-----
  1 | kaigai
  2 | yamada
  3 | kimura
(3 rows)
  
```

- テーブル、カラム、SQL関数etc...もセキュリティコンテキストを持つ
- 権限のないIDBオブジェクトを利用した場合、事前にエラーを返す
  - SELECT権限のないカラムの参照、DELETE権限のないテーブルの削除
  - 単純に結果をフィルタリングする行レベルの制御とは異なる
  - ✓ “行レベル”では、クエリの実行前にアクセス対象を確定できない :-)

## 例：列レベルのアクセス制御 (2/2)

```
postgres=# select * from customer;
ERROR:  SELinux: denied { select }
        scontext=unconfined_u:unconfined_r:sepgsql_test_t
        tcontext=system_u:object_r:sepgsql_secret_table_t
        tclass=db_column name=customer.credit

postgres=# select cid, cname, show_credit(cid) from customer;
cid | cname | show_credit
-----+-----+-----
  1 | kaigai | 1111-xxxx-xxxx-xxxx
  2 | yamada | 5555-xxxx-xxxx-xxxx
  3 | kimura | 9999-xxxx-xxxx-xxxx
(3 rows)
```

- Trusted Procedure
  - SQL関数の実行中~~だけ~~、クライアントの権限を変更する
  - この例では、"credit"列を伏字にして返却
- 応用例
  - 決済システムはクレジットカード番号を参照可能
  - Webアプリケーションは、伏字でしか参照できない

# ディストリビューションの対応状況

- Fedora Project
  - sepostgresqlパッケージ採用 (Fedora 8 ~ )
  - SELinux標準セキュリティポリシーでのサポート
- Red Hat EL/Cent OSなど
  - RHEL5では、カーネル/ポリシー共に古すぎるため不可
  - RHEL6向けに、EPELリポジトリ経由での提供を検討  
EPEL = Extra Packages for Enterprise Linux
- PostgreSQL本家
  - v8.4 での採用に向けて議論を進めている途中  
<http://wiki.postgresql.org/wiki/CommitFest:2008-11>
  - 但し、一部機能に関しては v8.5 へ延期 (泣
  - なので、しばらくは Fedora 向けパッケージを使って下さい (汗



# インストール

```
[root@masu ~]# yum install -y sepostgresql
:
=====
Package            Arch      Version              Repository           Size
=====
Installing:
sepostgresql       i386      8.3.6-2.1518.fc11    rawhide              2.1 M

Transaction Summary
=====
:
Installed:
sepostgresql.i386 0:8.3.6-2.1518.fc11

Complete!
[root@masu ~]# /etc/init.d/sepostgresql initdb
Initializing database: [ OK ]
[root@masu ~]# /etc/init.d/sepostgresql start
Starting sepostgresql service: [ OK ]
```

- Fedoraでは非常に簡単
- むしろ、現状ではFedora以外での利用をお勧めできない orz
- ➡ カーネル/セキュリティポリシー/周辺コマンドetc...の対応状況

# DB設計の方針 (1/2)

- 標準のセキュリティポリシーを利用する
  - セキュリティ設計は基本的に難しい
    - 専門家の作成したセキュリティポリシーの利用  
= ベストプラクティス
  - TE/MCSの中から、必要なものをピックアップ
- 定義済みタイプの一例
  - sepgsql\_table\_t ... 読み書き可能
  - sepgsql\_secret\_table\_t ... 一般ユーザのアクセス不可
  - sepgsql\_fixed\_table\_t ... SELECT/INSERTのみ可
  - **staff**\_sepysql\_proc\_exec\_t ... staff\_t ドメインのみ実行可能なSQL関数

## DB設計の方針 (2/2)

- デフォルトのセキュリティコンテキスト

- テーブル: sepgsql\_table\_t (無印PostgreSQLと同じ)
- カラム/タプル: テーブルのタイプを継承
- カテゴリ: 利用者のカテゴリを継承

- 例

- 利用者 `system_u:system_r:httpd_t:s0:c3`
- テーブル `staff_u:object_r:sepgsql_fixed_table_t:s0`
- INSERTした列 `staff_u:object_r:sepgsql_fixed_table_s:s0:c3`

- 拡張SQL構文

```
CREATE TABLE audit (  
    id      serial primary key,  
    data    text  
) security_label = 'system_u:object_r:sepgsql_fixed_table_t:s0'
```

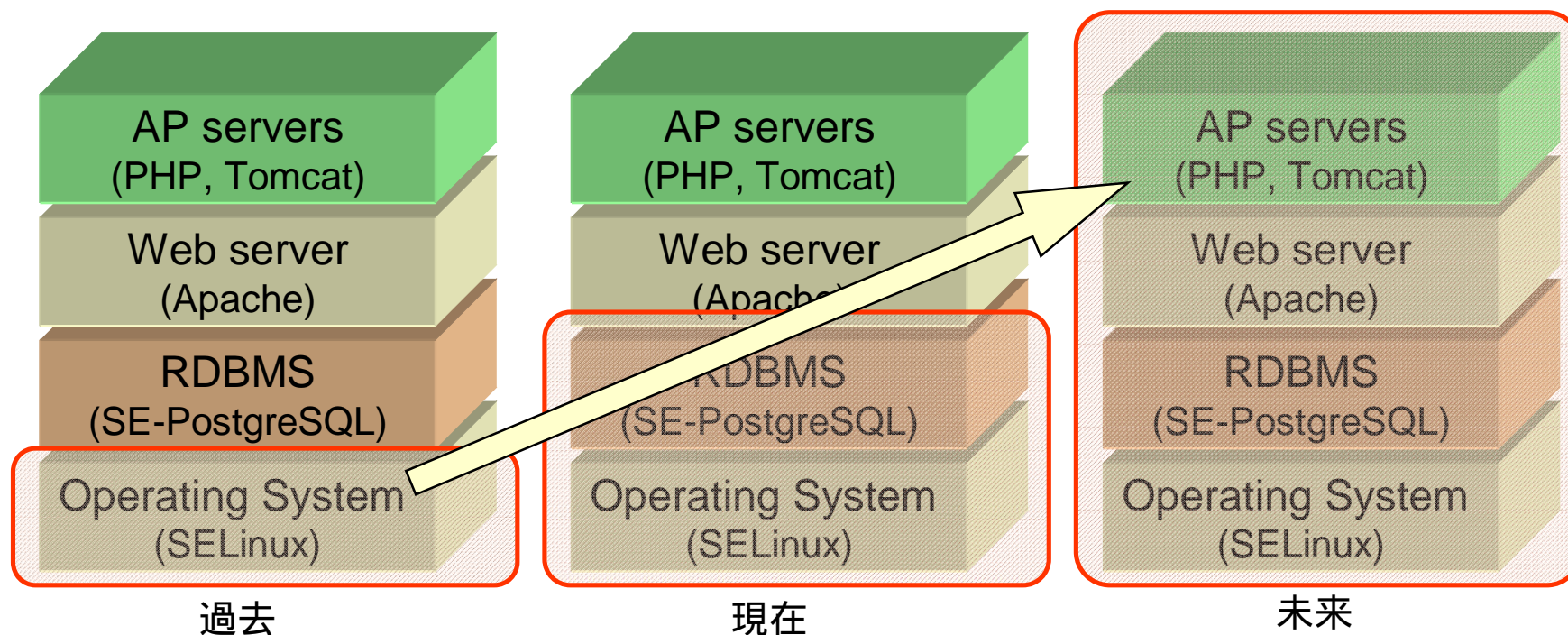
# デモンストレーション



日本セキュア OS ユーザ会  
Japan Secure Operating System Users Group since 2007

# 今後の方向性

- LAPPスタック全体をSELinuxで保護
  - ターゲットは web アプリケーション
  - SaaS化/Cloud-Computingの流れ
  - ➡ 抜本的なセキュリティの改善は必須

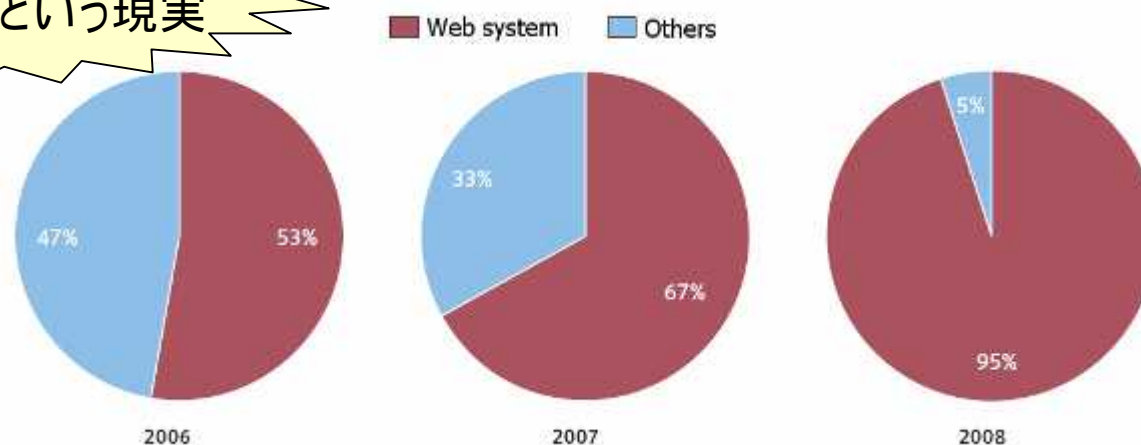


# 今後の方向性

- LAPPスタック全体をSELinuxで保護
  - ターゲットは web アプリケーション
  - SaaS化/Cloud-Computingの流れ
  - ➡ 抜本的なセキュリティの改善は必須

攻撃の95%は  
Webシステムという現実

(PHP, Tor)  
Web server  
(Apache)  
RDBMS  
(SE-PostgreSQL)  
Operating System  
(SELinux)



出典: (株)ラック、侵入傾向分析レポート vol.11

過去

現在

未来



# セキュアOSユーザ会

- about us

- セキュアOS技術を中心に、技術者、利用者etc...の情報交換・交流・議論を目的としたコミュニティ
- Web: <http://www.secureos.jp/>
- ML: [users-ml@secureos.jp](mailto:users-ml@secureos.jp)

- セキュアOS塾

- 3～4ヶ月に一回くらいの勉強会
- 平日夜/都内/懇親会
- 過去のテーマ
  - SELinux入門
  - LAPP/SELinux
  - TOMOYO Linux
  - POSIX Capability



'08/10/29 セキュアOS塾-01  
(於・港区勤労者福祉会館)



# Any Question?



日本セキュア OS ユーザ会  
Japan Secure Operating System Users Group since 2007



# 業務連絡

- 展示： セキュアOSユーザ会

- 5階A展示教室
- TOMOYO Linux, SE-PostgreSQL, LAPP/SELinux

- セミナー情報： 16:15 ~ / 8階A教室

## セキュアOS上でのアプリケーション動作検証

### ～ OSS ECM Alfrescoの例 ～

- 講師： 才所 秀明 (Linuxコンソーシアム)
- CMSアプリケーション等を導入する場合、現状セキュアOS機能をOFFに されてしまう場合が殆どです。本セッションでは、OSS ECM (Enterprise Content Management) AlfrescoのセキュアOS上での動作検証結果や その効果を紹介します。

A hand is shown reaching upwards towards several translucent, glowing squares that appear to be floating in the air. The background is a soft, out-of-focus gradient of light and dark grey.

# Thank you!



日本セキュア OS ユーザ会  
Japan Secure Operating System Users Group since 2007